



マガジン 東京の噂

毎週日曜 午後1:00から

くちこみメール募集中
 番組では、理不尽な出来事、困っている問題など身近な情報を募集しています。

噂の! 東京マガジン やって! TRY! 各店レシピ
 和食・洋食・中華...各ジャンルの名店レシピをこの一冊で!

ご購入はTBSishopで!

会議では、たまに資料を読んでいると
見せかけて寝落ちしてる。

★おナヨンC ロイヤルポリス



噂の現場 | やってTRY! | 過去の放送内 | 出演者

2015年2月22日放送

～墓地被害 ズサン業者 野放し状態責任～

今回は久々に墓地に関する問題取材しました。
 「噂の現場」を担当してから、これまで数々の墓地問題を取り上げましたが、今回はその中で最も複雑で、最も深刻な問題だったと思います。
 何が真実で、何が本当なのか...唯一、分かっているのは『墓地の使用者は何の罪もないのに被害にあっている』ということ。
 番組は裁判所ではないので、誰が悪くて、誰が悪くないかを判断する場所ではありません。でも、被害者がいるということは何か原因があるからです。それを端的に表現するなら、「お金」。そして、これまで番組が追及してきた「名義貸し」にメスを入れることなく、黙認してきた厚生労働省をはじめ、各地方公共団体に問題の原因があるのではないのでしょうか?言うまでもなく、「名義貸し」は営利目的に営利業者が墓地という土地で、お金儲けをする仕組みです。ただ、一旦、契約が履行されなくなると『欲のつっぱり』です。そのシワ寄せはお墓の使用者に降りかかるのです。

かつて、墓地の競売から問題が発覚した、千葉県船橋市の「やすらぎの里」も然り。
 何度も私が取材してきた世田谷区、府中市、所沢市...どここの霊園でも起こりうる問題です。
 3年前に取材した府中市の墓地計画は今、ついに市から許可があるかもしれないという局面だといいます。『資金調達が不透明な計画』と住民らは今も疑問視しています。
 その疑問をクリアするため?寺が出してきた回答は「他の寺からの協力金」とのこと。

今回の取材で、私は一つのこと分かりました。
 それは「経営資格」と「経営能力」は別物であること。宗教法人が事業型墓地の経営資格を有するのは、「江戸時代から開かれた寺で、今も続いている」という考え方が背景にあり、それだけ経営が安定しているからという考え方で、国は宗教法人に経営資格を与えました。
 でも、「資格」があっても、何億円という事業を行える「能力」は京都や鎌倉、奈良などにある全国に有名な寺しか備えていないと思われます。
 そんな常識的な話であっても、行政は墓地計画を許可する判子を押しまくってきました。

さあ、府中市はどうするのか?
 何億円もかかる事業に、周りのお寺さんが協力金を払ってくれた...そんな話を鵜呑みするのか?ちゃんと証拠を手にした上で判断するのか?
 取材の準備を始める時が来たような気がします。
 「東京マガジンの取材は受けたくない」と言っていた担当者と市長へ質問を書き始めよう。

(ディレクター 奥田 幸紀)

>> [バックナンバー](#)